

第1 分科会

「高校教育とPTA」

発表県 群馬県

発表校 群馬県立大間々高等学校

発表者 PTA会長 河内 陽子

発表テーマ 「地域に貢献する学校を目指して」

1 学校沿革

本校は、明治33年に教育者井上浦造氏により共立普通学校として開校され、以来121年の歴史と伝統を誇る学校です。昭和13年に町立大間々農業学校として引き継がれ、昭和23年に町立大間々高等実科女学校を併合し、群馬県立大間々高等学校となりました。平成10年には、県内初の全日制・単位制高校となり、少人数制による基礎基本の定着を重視した学習に加え、豊富な選択科目の設置により生徒の興味・関心に応え、多様な進路に対応できる教育を行っています。



2 校訓・校風・スローガン・教育目標

校訓：「自立」「至誠」「前進」

校風：「雄健」「学勤業励」

スローガン：「個性を伸ばし、夢をかなえよう」

教育目標：

「進展する現代社会の実態を考慮して、次に掲げる諸目標を重点とし、生徒の人格の完成に努めるとともに、将来、国家・社会の発展に貢献することのできる有為な人材の育成を期する。」

- (1) 向学心の高揚 (2) 社会連帯精神の育成
- (3) 心身の鍛成 (4) 楽しい学校生活の創造

3 本校の教育活動の特色

本校ではこの教育目標にあるように、120年経った今も初代井上浦造校長の「人間性を高める」ことに軸足をおいた教育は大切に受け継がれ、みどり市唯一の高等学校として、「地域で活躍できる人材の育成」を目指しています。そして、「地域に根ざした学校づくり」を忘れずに、地域の信頼を得て、学校と地域が協力しながらやっていくことをとても大事にしてきました。

昨年度からSDGsの取り組みを通して、大間々高校生の育成と、学校の活性化を図っています。具体的には、総合的探究の時間のテーマとして全校生徒で取り組み、生徒の自主的活動である、井上浦造みらい塾の生徒たちをリーダー育成の場として、生徒主体の取り組みにしています。彼らの意見を基にSDGsへの理解を深めるためにさまざまな実践活動を行っています。

そして、さらに、本校は、生徒の取り組みを自分たちの中で完結するのではなくて、社会へ示していく活動にも力を入れています。高校生が発信することの効果もあり、よりSDGsの目指すべき社会へ近づくために地域の方々が理解を示してくださいることに、生徒も達成感や有意性を実感することができます。実際に、新聞やTVなどのメディア等にもたくさん取り上げられてきました。それは、生徒にとっても大きな自信や誇りにも繋がっています。SDGsの視点から地域を見つめ直し、これから時代を生きていくのに必要な能力を身につけ、広い視野を持った生徒の育成を目指しています。

4 教育課程

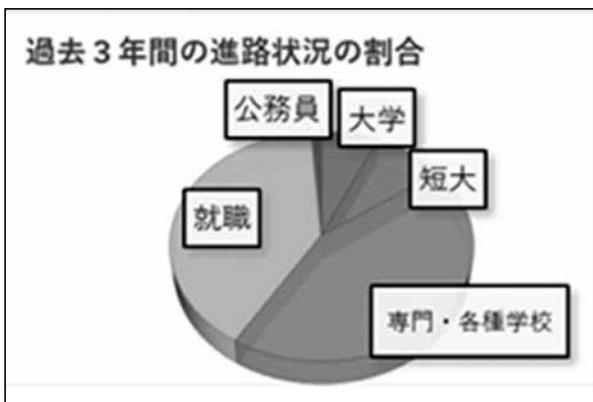
単位制高校として、選択科目の多さが特徴となります。1年次は必修科目が中心ですが、2年次は3つの選択科目群、3年次は11の選択科目群が設置されています。また、選択科目が多いとい

うことで、少人数での授業が展開され、1年次の必修科目も国数英で2クラス展開の授業を行い、きめ細やかな指導が行われています。

生徒自身は進路や興味・関心に応じて3年間の計画を立て、自らの進路目標に向かって、何が必要かを考え、何を学ぶか自分で選択し学習することができます。選択科目は、幅広い進路に対応できる科目が用意されています。

5 進路状況（過去三年間）

大学	短大	専門・各種	就職	公務員
22	28	144	132	4



6. 本校のPTA活動

（1）組織

本校のPTA組織は、各学年12名、合計36名の本部役員で構成しています。その中から役職として、会長、副会長、書記、会計、監事、第3学年委員が選出されますが、実際の運営には、全員で参加協力をしています。

（2）主なPTA行事

- ・PTA入会式
- ・本部役員会年5回
- ・PTA総会、PTA歓送迎会
- ・「ゴミのない町大間々」クリーン大作戦
- ・企業大学見学会
- ・各高P連行事への参加
- ・マナーアップ運動
- ・みどり市主催各種啓発活動行事への参加
- ・大間々祇園まつりみこしパレード
- ・文化祭

- ・開校記念式典
- ・PTA研修旅行
- ・マラソン大会
- ・PTA祝賀会、懇親会
- ・学校保健委員会
- ・卒業式、卒業学年保護者会、卒業祝賀会
- ・PTA新聞発行
- ・新入生オリエンテーション（新役員選出）

（3）PTA参加の主な学校行事

・「ゴミのない町大間々」クリーン大作戦

大間々町に所在する高校として、より住み良い生活環境づくりを目的とし、日頃お世話になっている地域への感謝を込めて、2002年から実施しています。

メンバーは、生徒会、部活動を中心とする生徒、同窓会役員、PTA、教職員など、総勢200名ほどが毎年参加して行っています。PTAも本部役員以外の保護者も協力してくれます。また、インターラクト部や家庭クラブを中心にプランター作りも同時にやって、大間々駅や赤城駅、希望の家などに贈呈しています。今年度も残念ながら中止となってしまいましたが、学校行事として定着しています。



・大間々祇園まつりパレード

大間々祇園まつりは、390年の歴史があり、「上州三大祇園」にも数えられる伝統を誇ります。

本校では、長年にわたり、大間々高校PTAとして、オリジナルのはっぴを着て、大間々高校の校章が付いた神輿を担いで、本町通りをパレードしています。近年では、生徒会、部活動を中心に有志の生徒、また、PTAや教職員など総勢100名程が参加しています。今年度は中止となってしまいましたが、地域の方々との貴重な交流の場になっており、今後も伝統あるまつりを盛り上げていけたらと思います。



・マラソン大会

新里総合グラウンドを拠点に校外で行われるマラソン大会ですが、PTA本部役員も軽食や飲み物の配布、応援などを行っています。子どもたちが活躍している姿や表彰式の様子なども見ることができますなど、全校生徒の学校行事に参加している実感があります。



(4) コロナ禍におけるPTA活動

昨年度は様々なPTA行事が中止となり、楽しみにしていた文化祭も創立120周年記念式典も

中止を余儀なくされました。そのような中でも、この歴史と伝統ある大間々高校を誇りに思ってもらいたい、子どもたちにとって、何か思い出に残るものを感じたいという思いから、中止になってしまった記念式典の代わりに、創立120周年記念事業として、PR動画及びPRポスター制作しました。SDGsを意識した、地域とのコラボレーションが特徴となっています。折しも、大間々町にある「わたらせ渓谷鐵道」がコロナ禍の影響を受けている記事が地元紙に掲載されたことから、共立普通学校時代から現在まで通学の足としてお世話になっている「わたらせ渓谷鐵道」とタイアップして今回の企画が行われました。また、撮影、制作にあたっては、日本で唯一の映像学部を有する立命館大学に依頼しました。動画とポスター制作のコンセプトは、「生徒たちが地域とともに、生き生きと活動する姿を伝える」ことで「120年つながる大間々高校OneStory」として学校と地域が1つの物語を紡ぐように、学校や地域の魅力を交えながら学校生活を紹介するものになっています。そこで、PTAとして、是非ポスター掲示に協力させていただきたいということで、本部役員を中心に全校の保護者に呼びかけ、広報活動に参加することになりました。



本部役員会においては、立命館大学映像学部学生によるリモート講義形式でSDGsに関する学習会を行いました。子どもたちが総合的な探究の時間に学習しているSDGsを保護者にも理解してもらい、家庭においても一緒に取り組めたり、学びが共有できたらと考えています。

PTA研修旅行もコロナ禍で県外への移動を自粛することもあり、かねてからのわたらせ渓谷鐵

道とのコラボレーションもあり、SDGsを意識して地元のわたらせ渓谷鐵道トロッコ電車に乗り、富弘美術館等を散策しました。地元の良さを再発見するものとなりました。

年末にはSDGs水上研修として、PTA本部役員と井上浦造みらい塾生徒との合同研修も企画されていましたが、折からのコロナ感染者増加を受けてやむなく中止となりました。

今年度の取り組みとしては、第1回新旧本部役員会においては、カレンダーの配布と掲示協力を依頼、上野千鶴子氏のリモート講演会の案内、SDGs出前授業の案内をPRしました。カレンダーは、昨年10月から、性別にかかわらず、スラックスかスカートか自由に選べる選択制制服になり、すべての人にとってスラックスが履きやすいものになるように、また、地域に対して、大間々高校が取り組んでいることを知って欲しい、理解して欲しいという思いを込めて、井上浦造みらい塾の生徒が立命館大学学生のお力をお借りして制作したものです。その取り組みについては、NHKの「ほっとぐんま630」でも取り上げられました。選択制制服については、動画も制作し、PTA総会において、全校の保護者に対してこのような取り組みを紹介する予定でしたが、総会中止に伴い、HP等で配信予定です。



上野千鶴子氏のリモート講演会は、子どもたちが総合的な探究の時間に行うのですが、保護者や地域の方々も一緒に参加することができます。子どもたちが学んでいるものを共有できる貴重な機会になります。



7 おわりに

本校のPTA本部役員は、何か子どもたちのために動きたい気持ちが強く、役員会などを通して、学年を越えた役員同士の絆を感じたりしてきましたが、今回はコロナ禍の影響で、様々な活動が中止になったり、制限されたりで、やりたくても出来ないもどかしさを痛感しております。

そのような中においても、このような大間々高校生の取り組みや成長を、まずは保護者代表であるPTA本部役員に知ってもらうことが大事であると考え、共に学ぶ機会を、心掛けています。

今年度のPTAは、本校の様々な取り組みに対して、広報活動の一端を担い、その宣伝活動により、生徒の教育活動への支援と協力をしていくスタイルも大切なPTA活動であると考えています。そして、目指すべきは、本部役員の姿勢が、理解協力から、一緒に活動できることであり、今年度の文化祭等で実践していけたらと考えています。